

# 英語学習の動機付けと資格取得 および海外体験の現状と展望

——「映画で学ぶ英語表現Ⅱ」の試みとその成果と課題——

海老澤 邦 江\*

## 1. はじめに

「映画で学ぶ英語表現Ⅱ」を担当し5年が経過した。当初、B701教室で10から20名そこそこの履修生数が徐々に増加し、次にマルチメディア教室を使用し30数名の受講生を対象に授業を行った。その後も受講生が増加し、履修希望者を制限したこともあったが、逆に履修希望をしていたのに、履修できないという不満を募らせる結果となったので、ここ数年は、履修制限を設けなかった。すると履修登録は、100名前後におよび、モニターテレビが複数設置された一般の大教室（D351教室）を使用せざるをえなくなった。ただ、成績評価対象として最終的に単位を与えられる条件を満たす履修者は、70名前後になった。

この授業の目的は、①英語音声に親しみ英語学習への動機を高めること、②英語文化を学ぶこと、の2点である。そのために、映画を教材として選択する場合、単に有名な映画であるという理由だけでは充分ではない。俳優の滑舌、表現力、豊富な日常表現があることが、教材として採用する際の指標となる。さらに、出典はわからなくても、どの学生も映画のある部分や出演者だけは知っているという普遍性も考慮に入れる必要がある。さらに、映画の持つ魅力、たとえば時代性や現代とのつながり、文化的要素も考慮し、映像を見るだ

けの映画鑑賞会に陥らないような弾力性を持つことも必要である。

こうした観点から、私が選択した映画は、①マイ・フェア・レディ、②サウンド・オブ・ミュージック、③オズの魔法使い、の3作品となった。これらの作品に共通しているのは、上記の選択指標に加えて、ミュージカル映画という点である。各映画で流れる歌は、現在でも耳にする名曲と評価されるものが含まれている。現代の学生は、昔に比べ、音楽に対して敏感な耳を持っているので、耳に馴染んだ音楽に対しては、特に大きな関心を持っている。さらに、英語音声に親しみ聞き取るといった学習面からも効果が期待できると言えるだろう。

授業運営方法の基本は、各映画につき4～5週を割り当て、各授業で扱う場面のスクリプトと重要な英語表現を抽出し解説した資料を作成し、毎週配布する。また、前週の授業の重要表現を授業開始前に復習テストを行うという形を取った。さらに、受講生が増加した近年においては、英語構文や文法解説をする以外は、全て英語で授業を行ってみた。その理由のひとつとしては、受講生が多数であったことにもあるが、授業の大半を英語で行った方が学生の集中力を高めることができるからである。

今回、大学で行う授業評価とは別に、履修学生に対して記述式の授業評価を独自に行った。というのも、本授業は2年次以上の対象であるが、今年度は特に2年生～4年生までの受講生を含んで

\* 江戸川大学 情報文化学科教授、語学教育研究所長

おり、また、他学科の学生の履修も多くあったことから、江戸川大学の学生の英語学習の取り組みについて、主だった傾向が窺えるのではないかと考えたからである。次章以降、具体的な教材研究を中心とした授業概要と授業評価アンケートの結果の報告、その成果と課題を述べてみたい。

## 2. 授業概要と教材研究

本授業の資料は、市販のテキストは使用せず、私が作成したものを用了。というのも、映画鑑賞会ではないので、基本的には学生たちがあらかじめ映画を見るのが履修する際の予習課題とし、授業に取り上げる場面の前後関係を把握することを求め、授業の進行と理解を促すためであった。他の理由としては、授業で取り上げる場面によって、日常表現の学習内容として活用できる、できないが決まってくるからである。物語性に富んだストーリーのプロットにおいて、コミュニケーションの観点から授業教材に有効なのは、出会い、別離、再会といった展開がある。その間を結ぶプロセスとともに、山場となる場面はコミュニケーションな表現がふんだんに使用される。3つのミュージカル映画に共通しているのは、そのプロットを備えていることにもある。毎回の授業資料は、A4サイズ3~4頁で、1~1.5頁分に重要表現に下線を付したスクリプト、0.5頁分に当該スクリプトの重要な語彙と語句、0.5~1分頁程度に文法説明、最後に練習問題といった構成が基本となる。本授業は、英語音声に親しむ目的があるので、スクリプトにはスポットディクテーション用に空欄を設け、練習問題には、特にリスニングを試す問題を多く作成した。

次に、各映画の特色を述べてみたい。

まず、『マイ・フェア・レディ』だが、洋画を通じて英語学習の動機づけと学習の展開を期待できる要素を持っている。例えば、主演のオードリー・ヘップバーンが出演した作品『ローマの休日』など数々の作品を初め、このリメイク版であるアメリカ映画の『ブリティ・ウーマン』や発音矯正とスピーチの点から『英国王のスピーチ』を紹介で

きるであろう。

この映画は、ジョージ・バーナード・ショウの『ピグマリオン』を原作している。実は3作品中では、英語レベルの点では最も難しい。さらに、現代のジェンダー理論と言語理論からすると、教材として適切ではないという指摘が予想されるものである。ロンドンの下町で話される「コックニー」に対する上流階級で話される正統的「ブリティッシュ・イングリッシュ」の社会的優位を表す言語的差別、貧しい花売り娘を貴婦人に変身させるために厳しい特訓を課すヒギンズ教授の女性蔑視とも受け取れる言動が描かれているため、ジェンダー問題や言語教育的問題に敏感な関係者にとっては、眉を顰める場面が多々存在する。しかし、映画のプロットを丹念に追ってゆくと、「コックニー」は言語学的観点からは希少価値のあるもの、また、貧しい花売り娘が、人間として、かつひとりのたくましい女性としての成長と成熟を描いていることがわかるであろう。

さらに、現代においても、この映画のメッセージから学ぶ取る点も多々ある。たとえば、コックニーの英語は、オーストラリアやニュージーランドでも日常的に聞くことができる。/ei/の代わりに /ai/ と発音するコックニーは、today を [tə'dái] と発音する。ニュージーランド研修を経験した学生の中には、実際にこの音声を耳にしている。そうした学生は、ニュージーランドのイギリスからの移民の歴史とコックニーの流れに初めて合点がゆくのである。

もう一つの重要なメッセージは、「ことば」の重要性である。表面的には、「正しい英語」を強調する中に、勿論、英国の知識階級と上流階級のスノビッシュな階級意識が表れているのだが、シェイクスピアが活躍した時代以降、近代英語を生成し語彙を蓄積し、脈々と受け継がれてきた英語は、母国語つまり「国語」であり、いわば伝統文化である。因みに、原作を著したショウはアイルランド人である。ショウは、その毒舌と皮肉でも有名だが、社会的優位な「正統的英語」に対する「コックニー」は、「英語」に対する「アイルランド語」という関係に等しい。「コックニー」は、いわば

英国における地方言語と考えられるわけだが、アイルランド語が英国の植民地政策によって消滅の危機に瀕した事実があり、それによってアイルランド文化が大きな損失を被ったことは歴史が示す通りである。表面的には「正統的英語」の優位を描いているように思えるのだが、実は、母国語の崩壊と消滅の危険性を逆説的に表現していると言っ

てよい。こうした思想的言語問題とは別に、ここで強調されるメッセージは、「社会的に適切と思われ受け容れることば」を学習する必要があるということである。そうしたことばは、より良きコミュニケーションを実現するために不可欠であり、また対人関係において、ひとつのマナーであることだ。こうしたメッセージを、現代の学生は自明のこととして理解する。思想問題の束縛から自由な学生たちは、日本語に様々な地方言語があるように、コックニーもひとつの地域の個性を表す言語として受け取り関心を示す。さらにまた、自身の問題として、英語に限らず日本語の使い方にも思いを巡らすのである。つまり、学生たち自身が、母国語である日本語を適切に使っているかを省みて、コミュニケーションの基本としての言語を意識する。現代の学生は、20世紀の学生に比べると、ある意味では柔軟性に富んでいる。英語であれ日本語であれ、コミュニケーションを基軸に考えた場合、より効果的でインタラクティブな表現に強い関心を抱いていることがわかる。

次に、『サウンド・オブ・ミュージック』の一番の特色は、挿入されている歌曲が、日本の現代の学生に馴染みのあるものが多いという点である。「ドレミの歌」「わたしのお気に入り」「エーデルワイス」そしてタイトル曲の「サウンド・オブ・ミュージック」は、軽快なリズムやゆったりとしたメロディラインなので、英語音声を楽しめると同時に、リスニングに適している。他にも、これらの歌曲の歌詞は、日常でよく使われる語彙と英語音声と表現の特質を生かしているという理由が挙げられるであろう。そのため、3作品のうちで歌曲をリスニングの教材に最も頻繁に利用した。またこれらの歌曲をほとんどの学生が知っている

が、それらがこのミュージカルから生まれたことは知らない。「わたしのお気に入り」などは、JR東海のコマーシャルと信じていた学生にとっては、逆に新鮮な驚きとなる。さらに学生たちが驚くのは、実話を基にした話であること、そして現在もフォン・トラップ・ファミリー合唱団が存在していることである。

フォン・トラップ一家が生き延びた時代についても、ナチス・ドイツに支配されつつあった第二次世界大戦ヨーロッパのオーストリアの設定は、学生たちにとっては未知の外国である。英語学習という、ほぼイギリスやアメリカとの結びつきをイメージしてしまう。実際、そうした設定の英語教材は多いので、この映画は地理的、歴史的教養においても教材としては学生にとっては新鮮に受け取られていた。厳密に言えば、オーストリアはドイツ語圏なので、その点を補足するならば、この映画の基となった『菩提樹』や『続・菩提樹』を紹介することもできよう。

主人公マリア役を演じるジュリー・アンドリュースの美しい英語、他の出演者の歌唱力なども相俟って、家庭教師と子供たちとの交流を中心に構成されたプロットが学生たちにとって身近に感じられたようだ。さらに、家庭の日常的な場面が多いので、日常よく使用される語彙や表現がふんだんに使われている。これは『オズの魔法使い』にも共通しているのだが、「やかん」「針」「のこぎり」「鹿」「ネズミ」「雷」などの語彙を学生たちは、すぐには思い浮かばない、もしくは知らない。これは必ずしも学生の語彙力が低いという理由からではなく、これまでの学校英語の中で、そうした日常の使用頻度の高い語彙が占める割合が少ないからではないであろうか。しかし、これらは文科省が定める履修すべき語彙であり、実際に教科書などに含まれている。それでも基本語彙として蓄積されないのは、教科書や授業、もしくは日常的な利用頻度が、日本の英語学習において低いからではないだろうか。

『オズの魔法使い』は、さらに多くの日常表現を含んだ教材と言える。アメリカの児童文学者L・フランク・ボームの原作であるが、現代では内容

を変え様々にリメイクされ、さらにはゲームなどにも登場し、学生にとっては「オズ」という名称については馴染深いものである。『サウンド・オブ・ミュージック』同様に親しみ深く感じられるのは、先述したように、おとぎ話であっても日常場面の設定であること、登場人物の性格付けがごく一般的であるからであろう。主人公のドロシーが、仲間3人とともにそれぞれが叶えたい夢を実現するために旅をし、最後にはドロシーが晴れて家路に着くという、冒険譚を含んだドロシーの成長を描いている。

主人公ドロシー役を演じるジュディ・ガーランドもまた、少女ながら滑舌のよい美しい英語を話す。それも、マナーに則った成人の英語を使用している。言語表現で注目したいのは、整った英語や日常の語彙のみならず、日常のコミュニケーションな英語表現が全編にあること、特に、ある発話に対してのレスポンス表現に多くの日常表現が見られることである。つまり、コミュニケーションな表現には、ある発話に対して適切に応答できる表現力ができるかという点も重要である。例えば、中学1年で“How are you?” “I’m fine, thank you. And you?” という定型表現を、まず学習するのだが、実際の会話は、常に定型表現で間に合うわけではない。“I’m fine, thank you. And you?”の代わりに、“So-so.”や“I’m OK.”などの応答もあり得るのだ。会話とは実際は定型場面を想定できない方が多く、非常に流動的なのである。その場面や状況に応じた応答が、次の展開、もしくは実際の会話への導入になる。英語を聞き取る力が基本とすると、状況・場面に適切な応答する様々な表現力を身につけることが会話の基本となるのではないだろうか。会話ができるようになりたいという願望が学生にあるにも関わらず、十分な会話力が身につかないという課題の解決の糸口にもなるのではないだろうか。そうした観点から、ドロシーが展開する様々な登場人物との会話には、英語学習に利用できる応答表現が豊富である。

『マイ・フェア・レディ』『サウンド・オブ・ミュージック』『オズの魔法使い』の3作品のプロットに共通しているもうひとつの点は、出会い、別離、

再会のプロセスの中で経験を通じて、主人公たちのみならず周辺の登場人物が人間的成長と人生の発見を果たしていることである。語学学習の動機づけには、教材の魅力が少なからず影響がある。だが、単に商業的に注目されている、演技者が有名であるからという理由だけでは、授業の教材としては十分ではない。学生たちは、仮想空間の中に描かれているものにリアリティを求める。そのリアリティが自分たちの生活に密着した部分を持つところに敏感に反応する。そこから得られるものが人生や人間関係における共感であることが望ましいと考える。今ひとつの共通点は、〈師匠と教え子〉といった関係性が伏線にあると言える。この伏線によって、受講生の学生たちにより親近感を感じてもらえたのではないかと考える。

### 3. 調査結果

さて、2年次40名、3年次8名、4年次11名、年次不明4名の合計63名を対象に授業アンケートでは以下の質問に回答してもらった。

- (1) なぜこの授業を履修したのですか？
- (2) 満足した点
- (3) 満足できなかった点
- (4) 3本の映画の中で一番気に入ったものは何ですか？
- (5) 毎回配布された教材のプリント・資料についての感想
- (6) レビューテストの自分の結果についての自己評価をしてください。
- (7) この授業はためになりましたか？
  - ① はい（その理由を書いてください。）
  - ② いいえ（その理由を書いてください。）

以上の項目は、無記名で全て記述してもらった。その結果を履修年次ごとにまとめたものを以下に示す。

## ① 2年次生 (40名)

## (1) なぜこの授業を履修したのですか？

力点	内 容	人数
英語学習	英語を学びたかったため。	11
	英語に興味があったため。	1
	英語力を身につけるため。	1
	苦手だが、英語でコミュニケーションが取れるようになりたいため。	1
	英語を少しでも話せるようになりたかったため。	1
	映画	日常英会話を学べると思ったため。
	楽しく英語を学びたいと考えたため。	1
	英語が好きのため。	1
	英語が好きで、洋書を読めるようになりたかったため。	1
	苦手な英語を少しでも克服したいと考えたため。	1
	英語の教職を履修しているため、少しでも英語力を身につけようと考えたため。	1
	リスニング力向上のため。	1
	映画を通して英語を学びたいと思ったため。	1
	ミュージカルが好きで、英語も学びたいと思ったため。	1
	映画で英語が学べるのか気になったため。	1
	好きな映画で英語が学べることに魅力を感じたため。	1
	洋画が好きのため。	1
その他	一年のときに履修していたため。	1
	楽しそうだと感じたため。	2
	情報文化だから英語も学ぼうと思ったため。	1
	学科の履修すべき科目に入っていたため。	1
	担当が海老澤先生だったため。	1
	友人に勧められたため。	1
	時間が空いたため。	3
	単位取得のため。	2

## (2) 満足した点

力点	内 容	人数
英語学習	本場の英語を聞くことで、リスニング力が上がった。	2
	英語を好きになれた。	1
	楽しく英語の勉強ができた。	6
	文法など覚えられた。	2
	英語が聞き取りやすかった。	1
	授業を英語で進めてくれたことが良かった。	1
	映画を通じて様々な英語表現を学ぶことができた。	8
	映画を通して学ぶのが楽しかった。	15
	細かいテストがあったこと。	1

## (3) 満足できなかった点

力点	内 容	人数
英語学習	説明が英語だけだと理解するのが難しかった。	5
	映画の英語が難しく、全く聞き取れなかった。	1
	映像の切り替えが早く、ついていけない場面があった。	2
	聞き取りが難しかったので、もっと勉強しないといけない。	1
	単語があまり学べなかった気がした。	2
	授業環境	スクリーンや黒板の文字が見えにくかった。
生徒の私語が煩かった。		2
文法や、他の映画、現代のアメリカ人の言い回しなど学びたかった。		1
映画の中のセリフ使い、生徒同士で実際会話してみるなどやってみたかった。		1
もう少し問題が多い方が良かった。		1
自分の授業態度。		1
一度休んでしまったこと。		1
問題がきちんと解けなかった。		1
その他	最後まで通して映画が観れなかった。	6



(4) 3本の映画の中で一番気に入ったものは何ですか？

教材	人数
My Fair Lady	3
Sound of Music	18
オズの魔法使い	16
全ての作品	1

(5) 毎回配布された教材のプリント・資料についての感想

評価	内容	人数
+	良かった。	3
	歌詞があったのが良かった。	1
	(映画の内容や文法など) 分かりやすく学習しやすい。	20
	セリフが理解できるので良かった。	2
	スペルを覚えるのに役立った。	1
	重要な文法があっていいと思った。	1
	復習になった。	1
	知らなかった表現を知ることができた。	1
	毎回リスニングがあって良かった。	1
-	もう少し問題があったほうが良かった。	1
	単語集が欲しかった。	1
	穴埋めが書きづらかった。	1
	読み練習が足りないと感じた。	1
	問題が難しかった。	1

(6) レビューテストの自分の結果についての自己評価をしてください。

評価	内容	人数
+	良かった。	1
	大体できた。	9
-	あまりできていなかった。	6
	だめだった。	9
	勉強不足だった。	6
	復習ができてなかった。	6
	しっかり勉強すればできる内容だと感じた。	2

(7) この授業はためになりましたか？

項目	人数
1 Yes	38
2 No	1

(7)の回答への具体的コメント	人数
映画を通して英語力がついた。	2
様々な英語表現を学ぶことができた。	8
苦手になっている英語を学ぶことができた。	2
リスニング力が上がった。	7
語彙・英語のアクセントなどの英語音声を理解できた。	6
理解が深まった気がする。	1
字幕で見る映画の楽しさを理解すると同時に、英語も学べた。	4
知らないこと、知りたかったことが映画を通して学ぶことができた。	2
英語を学ぶと同時に映画を鑑賞できたこと、また復習ができるのでレビューテストが良かった。	1
洋画に興味を持った。	1
有名な映画を知ることができた。	1

## ② 3年次生 (8名)

(1) なぜこの授業を履修したのですか？

力点	内容	人数
英語学習	英語スキルの向上のため。	1
	英語に興味があったため。	1
	テキストだけの勉強法より、映画から英語表現を学ぶ方がより英語を覚えやすいと考えたため。	1
映画	日常で使用される英語を映画から身につけ、海外に行く機会があった際、役立てられると考えたため。	1
	ミュージカル映画と英語が好きなため。	1
	敬遠していた英語だが、映画で学ぶなら楽しそうだと感じたため。	1
	映画から学ぶ授業が面白そうだと感じたため。	1
その他	別の授業でこの授業を知り、受けるべきだと考えたため。	1

## (2) 満足した点

力点	内 容	人数
英語 学習	三作品にわたり、英語表現を学ぶことができた。	1
	映像だと英語が比較的耳に入ってきやすかった。	1
	実際に映画を観ながら学ぶことは良かった。	1
	様々な場面で英文法がどのように使用されていたか、また歌のシーンなどからリスニング力が身についた。	1
	初めて観る映画があり、細かいセリフを知ることができた。	1
映画	映画が面白かった。	1
その他	思った以上に楽しく学べた。	1
	先生の授業に対する熱心な姿勢が窺えた。	1

## (3) 満足できなかった点（無回答 1名）

力点	内 容	人数
英語 学習	英語が得意でなかったため、理解が追い付かなかった。	1
	文法が少しわからなかった。	1
	字幕を英語にもしてほしかった。	2
	翻訳するのも面白そうだと感じた。	1
	最初に全て視聴してから、毎週ごとに各シーンのプリントをやる方が予習・復習できると思った。	1
授業 環境	部屋が明るかったため、スクリーンが見づらかった。	1

## (4) 3本の映画の中で一番気に入ったものは何ですか？

教 材	人数
My Fair Lady	1
Sound of Music	6
オズの魔法使い	1

## (5) 毎回配布された教材のプリント・資料についての感想（無回答 1名）

評価	内 容	人数
+	とても解りやすかった。	1
	勉強になった。	1
	自分で考え、聞き取りすることが楽しかった。	1
	大事なところが穴埋めになっているのが良かった。	1
-	穴埋めの他に、日常表現重視にポイントを入れてほしかった。	1
	意識分がほしかった。	1
	解答の提示が分かりづらかった。	1

## (6) レビューテストの自分の結果についての自己評価をしてください。

評価	内 容	人数
+	まあまあできた。	1
	英語表現を重視し、音読した。	1
-	あまりいい点が取れなかった。	4
	できていなかった。	1
	予習する必要がある。	1

## (7) この授業はためになりましたか？

項 目	人 数
1 Yes	8
2 No	0

(7)の回答に対するコメント	人数
英語を学びたいと思う切っ掛けになった。	1
忘れていた文法や単語を思い出す切っ掛けになった。	1
全てを活かしきれなかったが、英語に触れ続けることで人とコミュニケーションがとれた。	1
三作品から日常的に使用される英語に触れることができた。	1
ミュージカル映画の面白さを知り、少し英語を聞き取れるようになった。	1
英語だけでなく、映画にふれる機会になった。	2

英語とミュージカル映画についての知識を深めることができた。	1
-------------------------------	---

### ③ 4年次生(11名)および不明年次生(4名)

#### (1) なぜこの授業を履修したのですか？

力点	内 容	人数
英語学習	英語をもっと理解したかったため。	2
	英語のスキル向上のため。	2
映画	映画が好きで興味を持ち、英語表現を学ぼうと思ったため。	2
	映画が好きで、観たかったため。	4
	この授業のIが面白かったため。	2
その他	知り合いが履修したため。	1
	単位取得のため。	2

#### (2) 満足した点(無回答 3名)

力点	内 容	人数
英語学習	映画を観ながら重要な表現をピックアップして楽しく学べた。	1
	会話の細かい言い回しなど、一本の映画をじっくり観られた。	1
	映画で学ぶとわかりやすかった。	1
	耳が英語に慣れた。	1
映画	様々な映画が観られた。(自分では観ないような映画、有名な映画など)	8

#### (3) 満足できなかった点(無回答 3名)

力点	内 容	人数
英語学習	先生の英語が聞き取れなかった。	1
	よくわからないところが多かった。	1
	真面目に最初から取り組んでいればリスニング力がついたと思う。	1
映画	映画をすべて通して観たかった。	5
その他	つまらなかった。	1

#### (4) 3本の映画の中で一番気に入ったものは何ですか？

教 材	人数
My Fair Lady	2
Sound of Music	8
オズの魔法使い	5

#### (5) 毎回配布された教材のプリント・資料についての感想(無回答 1名)

評価	内 容	人数
+	詳しくて解りやすかった。	5
	英語勉強に役立った。	2
	プリントを観ながらだと聞き取ることが出来た。	2
	リスニングで穴埋めするのが楽しかった。	1
	単語の書き取りが学びやすかった。	1
-	単語の意味も書いてあると良かった。	1
	難しかった。	2

#### (6) レビューテストの自分の結果についての自己評価をしてください。(無回答 2名)

評価	内 容	人数
+	ほぼ満足のゆく結果だった。	5
-	復習をすればよかった。	4
	悪かった。	2
	まだまだ英語が理解できていない。	2

#### (7) この授業はためになりましたか？(無回答 1名)

項 目	人 数
1 Yes	14
2 No	0

(7)の回答に対するコメント	人数
忘れていた英語表現をもう一度学べたためになった。	1
少しでも英語を聞くことができて良かった。	1
教科書では知ることができないような口語表現を学べた良かった。	2



少ないが、新しい単語を覚えられた。	1
聞き取りやすい英語だった。	1
リスニングなど、苦手な英語を学ぶ切っ掛けとなった。	2
英語スキル（単語・文法）が上がり、有名な映画に興味を持つようになった。	2
映画を観ながら様々な文法を学べた。	1
映画のセリフから学べたので日常会話で使えるようになった。	1
英語表現に気を付けて映画を観る切っ掛けとなった。	1
英語力が少しつき、また映画から学んだことで気の持ちようが少し変わった。	2

この調査結果から、学習動機づけという主要な目的は果たされていると言えるのではないかと。教材や教材資料に関しても、多くの学生が好感を持っており、授業に適切であると考えられる。また、毎回のレビューテストに対するコメントからも学習内容確認の指標として学生から評価されている。しかしながら、授業環境や英語による授業運営、授業復習の学生の取り組みなど課題も残されている。

#### 4. 英語系資格等と海外体験についての調査結果

上記の授業に関するアンケートの他、英語系資格と海外体験についての意識調査と現状調査を行った。以下の質問に対して、上記アンケートに回答した同数の学生 63 名から回答を得た。

- (1) 下記の英語関係の資格について、該当するものに○印を付け、およびその内容を記入してください。

- 英語検定 1. 受験したことはある。  
 〈すでに取得した級〉  
 ① 3級 ② 準2級  
 ③ 2級 ④ なし  
 2. 受験したことはない。  
 3. 受験したい、もしくは受験

する予定。

- TOEIC 1. 受験したことがある。  
 ( ) 回  
 〈受験したことがある場合〉  
 取得点数 ( ) 点  
 2. 受験したことはない。  
 3. 受験したい、もしくは受験予定。

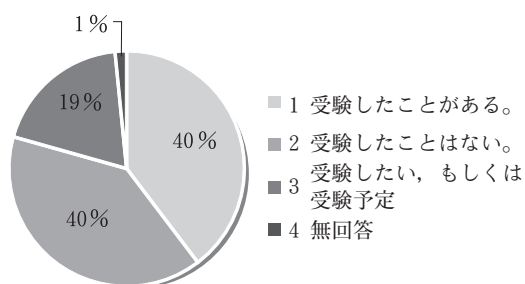
#### (2) 海外体験について

1. 海外に行ったことがある。  
 (国名 )  
 2. 海外に行ったことがない。

これらの質問に対して得られた結果をまとめたものを以下に示す。

受験科目	No.	人数
1. 英語検定	1 受験したことがある。	25
	2 受験したことはない。	25
	3 受験したい、もしくは受験する予定。	12
	4 無回答	1
2. TOEIC	1 受験したことがある。	12
	2 受験したことはない。	37
	3 受験したい、もしくは受験する予定。	11
	4 無回答	3

#### 1. 英語検定



2年次		3年次	
級	人数	級	人数
3級	6	3級	1
準2級	1	準2級	2
2級	1	2級	1
なし	1	なし	2
無回答	3		

4年次		年次不明	
級	人数	級	人数
3級	1	3級	2
準2級	0	準2級	0
2級	2	2級	0
なし	2	なし	0

3年次		3年次	
回数	人数	点数	人数
1回	2	500	1
2回	1	485	1
		無回答	1

4年次		4年次	
回数	人数	点数	人数
2回	1	490	1

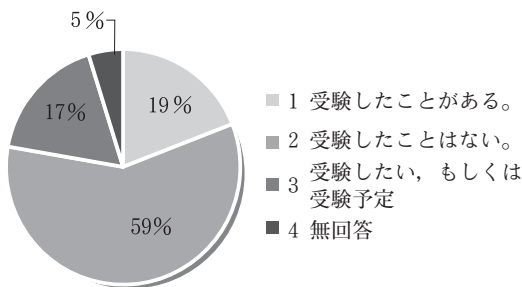
  

年次不明		年次不明	
回数	人数	点数	人数
2回	1	465	1

上記の結果から、受験した経験のある者は40%（25名）にも上り3級は取得しているものは10名いるが、それ以上の級取得者が少ないということがわかる。また、その一方で受験したことがない学生が、経験のある学生と同数いる。

一方のTOEICの結果は以下の通りである。

## 2. TOEIC



TOEICの受験をした学生は少ないが、500点前後の学生が多く見られる。しかし、まだ受験したことがない学生が圧倒的に多く、受験希望をする学生が英語検定同様に少ない。

次に学生の海外体験の実態に関する結果を下記に示す。

No.	人数
1 海外に行ったことがある。	31
2 海外に行ったことがない。	31
3 無回答	1

2年次		2年次	
回数	人数	点数	人数
1回	5	250	1
2回	1	390	1
3回	1	500前後	1
		無回答	4

国名	2年	3年	4年	年次不明
ニュージーランド	8	6	2	1
アメリカ	8	1	4	
イギリス	1		1	
スペイン	1			
フランス	1			
中国	3			
韓国	2		1	
オーストラリア	2	1	1	1
カナダ	1			
タイ	1	1	1	
台湾		1		

大学のニュージーランド海外研修や授業の研修を利用した学生が多いが、約半数の学生は海外体験をしていない。

## 5. 今後の課題と展望

本授業を担当した5年間に、江戸川大学生の英語学習の動機づけをどのようにしたらよいかが大きな課題であった。教材が教育の場に相応しく、また内容的にも優れたものであること、また現代の学生にとって魅力を感じることができる文化的教養的にも価値を見いだせるものという観点から、ミュージカルの古典とも言える3つの作品を選んだ。特に音声的な面でも、演技者の声、滑舌、正統的な英語を話すこと、また演技者の口の開閉が明確であることなども、その選択の指標となった。アニメーション映画は、実は教材には適していないことを申し添えたい。というのも、発話する際に、口の開閉がアニメーションでは不明瞭であるからだ。ディズニー映画などは人気があり、学生が好むものであるが、英語音声を発声する口の動きが明瞭でない。

課題としては、学生のコメントにも言及されているが、授業環境としては大教室は適切ではなかった。しかし、より多くの学生への動機づけを目的とした場合、やはり多くの学生を対象にした授業もあり得ると考えている。マルチリンガル教室の難点は、各学生の前にPCのモニターが置かれ、学生との対面授業には不適切である。というのも、映像を見る際に教室全体の照明を落とし、学生たちはモニター画面に集中できる一方で、俯き姿勢となるので顔がモニターに隠れてしまう。さらに悪いケースになると、そのモニターを見る集中力を欠いてしまう。コミュニケーションを主体にした授業は、学生の顔がはっきりと見える環境の方が望ましい。ただ、リスニングのみに徹底するならば、今後の学習利用の効果的利用方法を考えることができるであろう。

本授業で実現できなかったひとつには、作成したスクリプトを活用した対話練習であった。当初は、それも学習目的のひとつに挙げていたのだが、

年々増加した履修者に対応するために、学生のコメントにもあったように、その練習実践が出来なかった。

今後は、動機づけの授業から次の段階、さらに深い英語学習に結びつけるにはどうしたらよいかという課題を検討しなければならないであろう。いわば、ホップの次にあるステップに相当する授業が必要となるであろう。その段階において、対話練習を主体とした授業運営も可能であろう。また、本授業において、先述したように大半を英語で授業を行っていたため、履修生の中には、内容を把握できない学生もいたようだ。ホップの初段階での英語の授業は、主要目的から見ても、英語を苦手とする学生にとっては難易度が高すぎたのかもしれないが、授業の流れ全体から文脈を理解する推測力が備わる利点があることを述べておきたい。また、授業資料作成は、多くの時間を割いた。これは、市販のテキストでは、ポイントを絞りやすく、高額である、もしくは市販テキストがないなどで入手し難いのが現状である。どの科目にも共通することであるが、江戸川大学の学生に相応しい長期に渡って使用できる大学テキストの開発も、これからの大きな課題となるであろう。今回、授業アンケートは、全て記述式で行ったが、予想以上に多くの感想や意見を得られた。また、驚いたことに、質問事項以外に、授業に関する自由記述を求めたところ、これに対しても、多くの学生たちからコメントをもらった。これらのコメントを、記述されたものを修正なしで付録として本論の最後に掲載した。

英語関係の資格取得等に関する現状結果からわかることは、さらに資格取得についても今後の大きな課題である。英検は、主に高校までに取得した学生が多い。大学に入学してからも、英検に挑戦する学生数は限られている。英語学習の継続を図るとともに、英検の上級を取得する学生の増加を検討しなければならないであろう。一方、TOEICは、大学入学後に受験する学生が増えつつあるが、数的には不十分である。

DODAの行った調査によると、現代の20代で企業に勤める者の80%が、TOEICを受験したこ

とがないという結果が出ている。その一方で、80%の企業が、国際部門に限らず、どの部門においても初級程度の英語力、つまり TOEIC 500 点程度の力を求めている。この調査結果が示していることは、実業界で求めていることと実態がかけ離れているということである。また、国際ビジネスコミュニケーション協会の報告書によると、60%以上の上場企業が TOEIC を英語能力判定の資料として活用している<sup>(注)</sup>。学生時代の目標として、500 点前後のスコアを目標にし、学生の間 TOEIC 受験の経験をするのが重要なのではないだろうか。あまりに TOEIC が特殊なテストのような受け取り方をされているが、決してそうではない。ビジネスシーンを基にした英語能力診断テストであるのだから、職業意識とビジネスに関する知識を高める教育と連動することで、TOEIC はより身近なテストに感じられるのではないだろうか。

現在、多くの大学では TOEIC 受験に力を注いでいる。今後、現代の企業に勤務する 20 代の受験率は上昇してゆくであろう。その今後に対応するためにも、大学在学中に TOEIC の受験をさらに進めてゆく必要がある。必ずしも、誰もが 500 点を取得しなくてはならないという目的を掲げるのではなく、誰もが在学中に一度は受験するという目的から始めてもよいのではないだろうか。社会に出てから初めて受験するのでは、実際のところ、その学習環境は決して十分ではない。むしろ、在学中に経験をさせることによって、将来の不安が軽減するとも考えられる。将来的には、在学中にはほぼ 100%の学生が最低 1 回は受験経験を持つことを目標とし、さらに段階的に高得点を取得できるような仕組みをカリキュラムの構成とともに検討課題にする必要があると考える。

最後に、海外体験についても、開学以来、継続しているニュージーランド研修を中心にして、在学中に海外体験を 1 度は行うという目標が必要ではないだろうか。本授業を履修した学生の半数は

海外体験していたからこそ、英語学習の継続を求めているのだろう。一方、海外体験をしていない学生が半数いたが、この学生たちの多くは、英語学習は必要だと判断しているから履修したとも考えられる。在学中の異文化体験は、グローバル化社会が進む世界では、益々、重要となる。卒業後の観光目的ではなく、学習の要素を持った海外体験は、文化、教養、さらには人間的成長の観点からも重要である。海外体験の授業の減少は、現代のグローバル化時代に逆行する方向とも言えるであろう。

参加費負担などの経済的問題の要因から研修参加者が減少しているとされているが、大学の支援が充実してきている。学生側の意識にも目を向ける必要があるのではないだろうか。海外体験の大切さなどを懇切丁寧に説明した海外研修委員会の先生方の尽力等の結果、昨年度のニュージーランド研修には、選択授業にも関わらず、多くの参加者があった。こうしたことから、海外体験への学生の意識をさらに高める環境作りや雰囲気作りが重要になっていると思われる。日本国内に留まらず海外に出て活躍する、もしくは国内にあって異文化交流を自然に行える学生の育成につながるのではないだろうか。

最後に本論中のアンケート調査結果の取りまとめは、多くが記述式であったため煩雑な作業となったが、情報文化学科研究生の田原亜美さんの全面的な協力を得た。その尽力に心より感謝いたします。

#### 《注》

DODA 「グローバル採用の実態調査」<http://doda.jp/guide/ranking/056.html>  
国際ビジネスコミュニケーション協会「2013 年 上場企業における英語活用実態調査」報告書 [http://www.toeic.or.jp/library/toeic\\_data/toeic/pdf/data/katsuyo\\_2013.pdf](http://www.toeic.or.jp/library/toeic_data/toeic/pdf/data/katsuyo_2013.pdf)

## 付 録

アンケートの自由記述  
映画で学ぶ英語表現に関するアンケート

## 感想・コメント

〈2 年次〉

計 40 人（回答 29 人/無回答 11 人）

- \* とても良い授業だった。
- \* この授業を聞いて、色々とわかりやすく、色々と良い勉強になりました。テスト頑張ります。
- \* 最後まで英語に親しめるように映画を楽しむことができました。英語が自分は苦手なのは自分から学ぼうとしていないからだと思いました。ミュージカル大作は大体英語で誕生しているので、これから色々な映画・ミュージカルを見て、言い回しなど考えていきたいです。面白くなる授業でした。
- \* 沢山の映画が見られて楽しかったです。ありがとうございました。
- \* ドロシーがちゃんと家に帰ることができて良かったです。黒板が見づらいときもあったけど、何とか書けて良かったです。ありがとうございました。
- \* この授業を通してわからなかったことに対する理解を深めることができました。ありがとうございました。
- \* 私は、7 割くらいしか出席していませんが、大変楽しく英語を学ぶことができました。半年間ありがとうございました。
- \* I studied and understood English and thought that I would continue liking to study English much more. The lesson of this English become study very much. Thank you so much. Dear Teacher.
- \* オズの魔法使いが面白かったです。どんな映画かと思っていましたが、観たら想像と違い、面白かったです。セリフも一つ一つ聞き取るよう努力し、少し理解することができました。
- \* わからないところなどもありました。少しでも英語の知識がこの講義を通して身についたと思います。ありがとうございました。
- \* とても楽しかったです。映画を観るだけでなく、そこで使われている表現を確認していくのが、この人はこういう感情なんだとか、こういうことを言っているんだとか、様々な事を思ったし、様々な表現を学習できてとても自分のためになった授業だなあと思いました。特に学習プリントの活用が自分的にはありがたかったです!!! Thank you very much!! I want to receive your lesson again. I think that I want to ask questions the unknown. This class is very interesting!!!
- \* 本日が最後の授業でした。テスト頑張ろうと思います。ありがとうございました。
- \* それぞれ全く違うジャンルの映画から単語やフレーズを楽しく学ぶことができ、本当に面白い授業を受けられたと思います。しかし、私はこの授業を半分くらいまで休んでいました。本当にもったいない事をしたと思います。申し訳ありません。楽しい授業をありがとうございました。I was happing, teacher gave many kind of things for us. Thank you very much.
- \* 英語の様々な発音を聞くことができ良かった。普段、聞く機会がないので、ちょうど良かったです。それと有名な映画を観ることができ、とても楽しかったです。
- \* ずっと英語を勉強続けたいと思って、この授業を取りました。そして、この授業を取って良かったと思います。先生の説明がはっきりでした。
- \* オズの魔法使い、面白かったです。しっかり文法を覚えていきたいです。映画をみながらだと楽しく学べて良いです。しっかり勉強してテストに挑みたいと思います。今後も映画を観て、英語を学ぼうかなと思いました。とてもわかりやすく学びました。ありがとうございました。
- \* 本日で最後の授業となりました。私は今まで知



らなかった英語の表現を知ることができて楽しかったです。英検やTOEICの勉強も少ししたいと思いました。残りは自分で勉強を進めて受験しようと思いました。ありがとうございました。また他の授業でお世話になると思うのでよろしくをお願いします。

- \* 前期ありがとうございました。本日で終わってしまいましたが、楽しい時間でした。苦手なりにリスニングが好きになれたような気がします！もっと色々な洋画を観たいです。ありがとうございました。There is no place like home.
- \* テスト頑張ります！ありがとうございました!! 映画を字幕で観ることが多くなってきたのですが、これからもなるべく英語で観ようと思いました。
  - \* この授業では沢山のことを学びました。後期も先生の授業があったら取りたいです。
- \* テスト頑張ります。ありがとうございました。色々な映画を観られて良かったです。オズが好きだったので観られて良かった。
- \* 短期間だったのですが全く英語の理解ができてなかったで、できるように頑張る。
- \* 表のアンケートにも書いたことになってしましますが、授業の中でこんなに沢山映画が観られると思ってなかったで、とても嬉しかったです。さらに、映画を観ながら様々な英語を学ぶことができ、とても楽しく為になる授業でした。来週のテストにむけて、今からしっかり復習し、良い点数がとれるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。
- \* 英語が苦手な授業についていけるか心配でした。でも先生が優しく教えてくれたのでついていくことができました。14回の授業お疲れ様でした。映画も面白いもので楽しく観られて学ぶことができ、すごく良い英語の授業でした。ありがとうございました。
- \* 一番最初にこの授業に出たとき、人数が多すぎて教室から溢れていたのを覚えています。今回の授業もありがとうございました。また先生の授業を取ったときは、よろしくをお願いします。
- \* 前期を通し、たくさんの英語表現を学んだと思

います。マイ・フェア・レディは初めて観ましたが、他の2本は観たことがあり、英語を意識して観たことがなかったので、新鮮でした。これからも英語の映画を観るときは、英語に集中して観ようと思いました。半年間ありがとうございました。

- \* さまざまな英語の表現、慣用句を知れて良かったです。この授業の影響で古い洋画をまた観るようになりました。とても良い授業でした。ありがとうございました！
- \* 前期はありがとうございました。映画を観ながら英語を学べたので、面白かったです。どんどん映画を観てもっと覚えたいです。テストがしっかり出来るように頑張っていきたいです。
- \* 映画を観ながら英語も勉強するのは楽しいです。良い授業です。将来に役立ちます。

〈3年次〉

計8人(全員回答)

- \* There's no place like home.
- \* とても楽しかった。英語を学ぶきっかけになったことは嬉しい。これからも勉強を続けていきたい。
- \* 私は現在あまり頭の動かない状態なので、厳しい上にトゲのある一言をいただきました。皮一枚でつながっているような私は、そもそももう授業というものを受けられる状態ではないのかもしれません。
- \* 前期授業ありがとうございました。ごくろうさまです。とても楽しく、ためになる授業でした。映画のチョイスもとても良いと思いました。ありがとうございました。後期どこかでお会いできたら嬉しいと思います。
- \* 前期の授業は自分が取れなかった授業を履修することにしました。主に初めて他学科の授業をやり、とても面白く受けることができ嬉しかったです。中でも英語は好きですが、得意ではありませんでした。そこで苦手なことを好きだということに変えたいため英語に関する授業を受けることを決めました。後期も自分の好きなこと・興味を持つことができるようになるべく多く

受けようと考えています。

- \* ドロシーは無事, hometown に帰ることができて happy end で良かったと思いました。お昼後なので非常に眠かったですが, 頑張ったと私なりに思っています。I think I want to get the Eiken pre 1 some time. So, I study English hard for it. Thank you for teaching me. and reading this paper.
- \* 前期の授業をありがとうございました。この英語の授業で, 3年の前期中は週に一度英語に触れる機会がありました。月曜日の3限ということで, なかなか眠気だったり疲れだったりで大変でしたが, 楽しい授業でした。ぜひ, 英語を学ぶには良いであろう映画を選ぶ基準なども知りたいと思いました。それでは, また後期も授業がありましたら, よろしくお願ひ致します。
- \* 映画をきっかけに英語も好きになりました! ありがとうございます。I studied English. Thank you for teaching English!

#### 〈4年次〉

計 11 人 (回答 10 人/無回答 1 人)

- \* 今日の授業が最後の授業です。今までの授業について, 普通の英語授業より面白いと思います。洋画がもともと好きで, 今回の授業を通して, 洋画に対して, さらに好きになりました。その同時に, 英語能力を知らないうちに高めました。とてもためになる授業だと思います。
- \* 最初注意しっかりするのかなと思いました, パソコン開いていたり, 音楽聞いていたりしている人を無視していたのが残念です。
- \* ありがとうございます!
- \* サウンドオブミュージックが楽しかった。通しで見たくて家でも観た。マリアのような人にな

りたいと思った。本当に自分自身成長しないといけない。もときちんとしなければいけない。もう社会人になる。遅いけれど自覚した。強い気持ちを育てようと思った。自分はリスニングがとても弱いので, この授業はかなり為になったと思う。少しだけ最初よりは聞き取れるようになっていた事に感動した。これから映画を観る時, 聞き取る努力をしながら観ようと思った。

- \* 映画の題材にしている授業方法は, とても楽しかったです。どの作品も続が観たくなる作品なので, 印象良い授業でした。
- \* 授業を通していろいろな映画を観ることになって楽しかったです。
- \* 半年間ありがとうございました。サウンドミュージックとオズの魔法使いを家で観たいです。
- \* オズの魔法使いも楽しく観ることができました。今日まで映画を3本観てきて, これから洋画を観る時はもっと注意深く会話を観ていこうと思いました。テスト頑張ります。半期間楽しく為になる授業をありがとうございました。
- \* Thank you good teacher. But English is very difficult.
- \* 映画を観ながら英語表現を学べて, 楽しかったです。英語は好きですが, なかなかできない自分があるので, これをきっかけに英語を学んでいきたいです。

#### 〈年次不明〉

計 4 人 (回答 3 人/無回答 1 人)

- \* 短い間でしたがとても為になる勉強でした。
- \* やっていることが結構難しかったです。
- \* この授業で学んだ英語表現はいくつかあります。日常生活でも使えるような表現だったので, 学べて良かったです。

## On Motivation for English Learning and a Survey of English Qualification of Edogawa Students:

a Result and Prospect Based on Research  
of an English Class Utilizing Movies

EBISAWA Kunie

### Abstract

I have been in charge of an English class utilizing movies for five years. This class aims at enhancing the students' motivation for learning English as well as deepening their interest in different cultures. I use three musicals: *My Fair Lady*, *The Sound of Music* and *The Wizard of Oz*. These movies offer a good and easy to understand story, easy to understand, articulate English, and a variety of good performances. The handouts distributed to the students every week are designed by me and consist of some significant dialogues excerpted from the scripts, important words and phrases to memorize, and grammatical points. They include some parts of the dialogues for listening comprehension and practice quizzes. I give the students a review quiz every week and also conduct the class mostly in English.

At the end of the term I surveyed the students, asking them to evaluate the class to provide information about their level of English proficiency based on STEP (Eiken) and TOEIC, and to provide information about their overseas trips. This paper shows the results of the questionnaire and discuss some tasks to solve and prospects for English education. By utilizing movies suitable for English class, most of the students were satisfied and became more interested in learning English. Many of them felt that listening comprehension and motivation for studying English had improved.

Two-thirds of the students had not obtained a STEP qualification, or challenged TOEIC yet. Getting these students to take these proficiency exams is one issue to consider and solve. Another issue to tackle is to find out what would make them interested in gaining in overseas experience. Overseas experiences are important for our students to get first-hand knowledge and confidence for living in a globalized world.